

学校教育目標	【か】よく考え 【な】なかよく 【が】がんばる 【わ】わたしたちかなっ子
	【か】 自らすすんで問題を見つけ、よく考えて判断して行動し、豊かに表現できる子どもを育てます。(知)
	【な】 自分や他者のよさを認め合い、個性を発揮しながら他者と豊かにかかわり合う子どもを育てます。(徳)
	【が】 自分の心と体に関心を持ち、すすんで健康保持に努めるとともに、体力の向上を目指す子どもを育てます。(体)
【わ】 自分が住む神奈川の「まち」について理解を深め、「まち」とともに育ち「まち」に貢献する子どもを育てます。(公)	
	多様な文化やひとの存在を理解し、視野を広げて共によりよく生きようとする子どもを育てます。(開)

学校概要	創立 149 周年	学校長 足立 渉	副校長 松村 博行	2 学期制	一般学級: 11	個別支援学級: 4
	児童生徒数: 298 人	主な関係校: 浦島丘中学校、子安小学校、浦島小学校				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	〇〇中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
自己決定力 かかわり合う力 健やかな心とからだ	浦島丘中学校 子安小学校 浦島小学校	人とのつながりを大切にし、ねばり強く社会を生き抜く子  「人と人とのつながりを豊かにする社会性」、「課題解決能力」、「創造力と発信力」の3つの共通理解をもとに「ねばり強く社会を行く抜く子」を目指す。 具体的には、年間2回の小中合同授業研究会を通して9年間で育てる子ども像の意識を共有する。また、年間3回の中学校ブロック担当者会において、教育方針を調整する。さらに、児童生徒交流日を設定して児童生徒の小中接続意識化を図る。

中期取組目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自らすすんで問題を見つけ、よく考えて行動する子どもを育てます。</li> <li>・1年目は、子どもの自己決定を保障する取組を継続的に行うことで、主体的に学ぶ姿勢を身に付けられるようにします。</li> <li>・2年目は、子ども同士がかかわる場を設定し、対話的で協動的な学びの実現を目指します。</li> <li>・3年目は、伝え合うことで自分の考えを深められたり広げられたりすることを実感できるようにします。</li> </ul> <p>○他者と豊かにかかわり合う子どもを育てます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3年間を通して、幼・保・小・中学校、家庭、地域と連携し、人とかかわる活動を重視します。それぞれの子どもの違いやよさを認め合うことを通して子どもの自己肯定感を高めていきます。</li> </ul>
--------	---

重点取組分野	具体的取組
<b>知</b> 生きて働く知	①関わり合い、伝え合うことで自分の考えを深められたり広げられたりすることを実感できるような学習の場を設定していく。 ②学年やブロックでの評価基準の確認と見直しを年間を通して積み重ねていけるようにし、授業改善に努める。 ③授業研究をより深められるように、目指す子どもの資質・能力を明確にししながら、子どもが問題解決に進んで取り組める授業づくりを目指す。
担当 教育課程・研究推進	
<b>徳</b> 豊かな心	①年間を通してYPを活用していけるよう、計画を立てて研修等を行っていく。YPを通して友達との違いやよさを認めることができる風土を醸成していく。 ②ペア学年や地域の方との関わりを充実させる。関わり合いが広がることで、自分から挨拶できるようにしていく。
担当 特別支援・児童指導・人権	
<b>体</b> 健やかな体	①年間を通して「レッツ体力アップ」に取り組み、体力づくりの習慣づけをめざす。短縄や持久走、ストレッチに取り組み、個人の持久力・敏捷性の向上をめざすと同時に、運動の楽しさや達成感を得られるようにする。 ②「自ら考え行動できる学校」をめざして、保健委員会を中心に全校で健康、安全についての意識を高める取組の充実を図る。
担当 体育部・学校保健	
<b>公開</b> 地域との協働	①150周年という記念の年を来年に控えることを機に、材・バンクを活用して各学年の段階に応じた地域に絡めた学習活動を計画する。 ②学校運営協議会での情報共有を確実にし、地域行事へ積極的に参加するとともに、学習活動に反映できるように取り組む。
担当 教務部・人権	
<b>いじめへの対応</b>	①アンケートや面談を年間を通して計画的に実施したり、各学級の実態に応じてYPに取り組んだりすることで、いじめの未然防止の視点で学校・学級づくりを行う。②いじめ防止基本方針について、教職員・保護者・地域の一層の理解を深め、協働していじめの未然防止や対応が行うことができるようにする。
担当 いじめ防止対策委員会	
<b>人材育成・組織運営(働き方)</b>	①開かれたメンター研を目指し、メンター以外の職員も学び合うことができるような場にする。 ②教務のメンバーそれぞれが課題意識を持ち、よりよい学校運営が進められるようにする。 ③ICTを使用することや内容の精選を図ることで、大切なことは落とさずスムーズに会議運営を行えるようにする。
担当 教務部・メンターチーム	
<b>児童指導</b>	①「かなっ子のきまり」を教師・児童・保護者でより深く共有し、皆が同じ方向を向いて学校生活を送ることができるようにする。実態やニーズに応じて柔軟に編集していく。②企画会やブロック研の中で児童に関する情報を共有し、アンテナを高くスピード感をもって対応していく。③学校だより・学年だよりやSNSで学校の取組を発信し、学校と家庭が一体となって児童を見守る。
担当 児童指導	
<b>特別支援教育</b>	①一般学級と個別支援学級の連携強化に向けて、校内委員会や日頃の情報共有を通して、児童理解を深めることで、児童の実態に合った教育活動を行えるようにする。 ②特別支援教育部会を中心に研修や情報共有を通して、学校全体の特別支援教育についての理解を深め、日頃の教育活動に活かせるようにする。
担当 特別支援教育	
<b>地域学校協働活動</b>	①150周年を控える年を機に、児童が地域に出て行く郷土学習を行ったり、地域住民と共に地域課題を解決したり、地域の行事に参加したりしてともに地域づくりに関わっていくようにする。 ②学校運営協議会委員では、地域の様子や児童の様子を共有し、学校運営に地域の声を生かし、地域と一体となった学校運営を目指す。
担当 教務部	
	c10
担当	